



<p>児玉 朋也</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバーカード取得について <p>小中 真樹雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教職員の働き方改革への独自の「処方箋」を <p>中川 智之</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヤングケアラーの支援について ● 带状疱疹予防ワクチン接種の助成について <p>北地 範久</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生ごみの減量化への取り組みについて 	<p>小田上 尚典</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設のデジタル化は進んでいますか？ ● 大好き大竹応援大使について ● DXの取り組み方について <p>日域 究</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県用水の受水は県条例を基準に <p>藤川 和弘</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三倉岳自然公園について ● 晴海臨海公園の水広場について <p>細川 雅子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 玖波中学校統廃合の方針について見直しをしませんか
---	--

問 国はマイナポイント付与の取り組みなど、多額の資金を投じてマイナンバーカード取得を推進しています。今後は取得率に応じて地方交付税算定に反映する予定と聞きますが、そのようななった場合影響がありますか。

また、大竹市民はマイナンバーカードを使って、全国のコンビニエンスストア等で住民票、印鑑証明書、所得課税証明書、戸籍事項証明書等の発行が可能となっており、カード取得者にとっては、利便性の高い環境となっています。

現在のカード取得状況をお聞かせください。また、今後はどのような取得率向上への取り組みを図られるのか、お聞かせください。

マイナンバーカード
取得について



児玉 朋也



答 普通交付税の算定への影響については、現時点で詳細が明らかにされていないため不明です。

マイナンバーカードの取得状況は、令和4年7月末現在、12、706人の方が取得されており、交付率は47.7%で、全国平均を1.8%、県平均を1.1%、それぞれ上回っています。

普及のための取り組みとしては、現在、窓口でのマイナンバーカードの申請・交付手続きやマイナポイントの申込手続きの支援などを行っています。

また、今年度から公民館講座などと連携した出張申請受付、夜間・休日のマイナンバーカード交付窓口の定期的な設置、広報おたけに普及のための記事を毎月掲載するなどの新たな取り組みも始めています。



小中 真樹雄

教職員の働き方改革への独自の「処方箋」を

問 7月23日号の週刊東洋経済に「あなたの子どもの学校が崩れる」との記事が掲載されました。「教員不足が公教育の崩壊を招く」というのです。

名古屋大学の内田良教授らが昨年公立小中学校教員に行ったアンケートでは、総時間外勤務の合計値が過労死ラインとされる月80時間超の教員が小学校で59・8%、中学校では74・4%にも上っていたそうです。

市教委は小中学校教員の総時間外労働の平均値を把握していますか。月80時間を超えるケースはどのくらいあるのでしょうか。

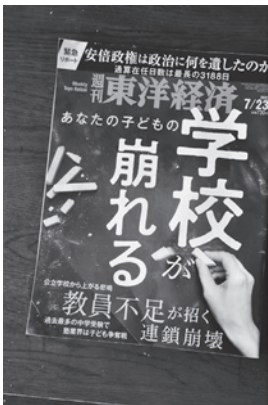
産休や育休が心配なくとれるような体制はできていますか。時間外手当は4%打ち切りという中での長時間労働です。どう

したら教職員の過重負担を減らせるか「大竹モデル」を示して下さい。

答 教育長 各校からの報告によると、今年度4月から7月までの総時間外労働の平均値は52時間6分で、勤務時間外在校時間が月80時間を超える教員は全体で18・7%、そのうち小学校教員は1%、中学校教員は17・7%でした。

産休・育休の代員が必要となった場合に備え、退職した教職員や臨時採用経験のある教職員などについて県及び近隣教育委員会と情報交換をし、常に情報収集をしています。また、県へ加配教員を要請し、今年度は3名措置されています。

教員が本来担うべき業務に専念し、子供と向き合う時間を確保することで教育の質の向上を図り、健康でやりがいをもって勤務できる環境づくりを推進したいと考えています。



中川 智之

ヤングケアラーの支援について

問 家族の介護や世話などを日常的に行っている、18歳未満の子供「ヤングケアラー」について伺います。

政府は今年度から3年間で「集中取組期間」と定め、ヤングケアラーを早期に見つけて適切な支援につなげるため積極的な広報活動を行い、自治体にも支援を行うとあります。

本市として現在どのように考えておられるのか伺います。

答 ヤングケアラーの早期発見・支援のため、家庭児童相談室をはじめ関係部署・関係機関が情報共有し、支援策を検討する体制を整えています。今後は、国の事業の活用や福祉・介護・医療・教育の分野横断的な取り組み、地域との連携なども研究していきたいと考えています。

带状疱疹予防ワクチン接種の助成について

問 带状疱疹は水疱瘡と同じウイルスで起こる皮膚の病気です。赤い斑点と水ぶくれが発症し、夜も眠れないような激しい痛みが現れ、顔面神経麻痺や難聴となる合併症を引き起こすこともあります。

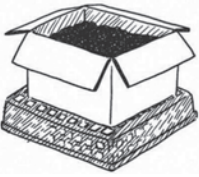
この带状疱疹の予防効果があるワクチン接種の費用を、助成していただけないか伺います。

答 带状疱疹ワクチンは予防接種法に基づき定期接種ではなく任意接種であり、健康被害が生じた場合、国による救済制度が適用されないため、市では全ての任意接種で費用助成を行っていません。今後定期接種に位置づけられた場合は、早期に接種できるようにしたいと考えています。



左右どちらかに症状が出る带状疱疹

段ボールコンポスト



バック型コンポスト



設置型コンポスト



いろいろな
コンポスト

問 生ごみ収集処理及び減量化への取り組みについて、処理量を見ると徐々に進められているところではありますが、そのうち家庭から出る生ごみを、すべて家庭で処理できれば単純計算で約3千万円の処理費の削減となります。

コンポストを活用することで、なお一層の減量化に取り組めないかお伺いします。また、公衆衛生推進協議会の取り組みや、民間の取り組みをどのように把握され、それらとの連携をどのように考えているか伺います。



北地 範久

生ごみ減量化への
取り組みについて

電動生ごみ処理機



バケツ型コンポスト



答 コンポストは生ごみの容積と重量を削減するために活用されています。市においても、コンポストなどへの補助金を交付することで促進を図っていますが、近年は補助金申請が少ないのが現状です。あらためてコンポストの活用促進に向けて補助制度の周知を行い、市民の皆様にご活用いただける水分を含まないごみ出しをお願いし、ごみの処理費用を削減できるよう努めます。

公衆衛生推進協議会が斡旋しているコンポストなどの売却実績は、ここ数年横ばいもしくは減少しています。また、市内のNPO法人が1団体活動していることは承知していますが、連携はしていません。今後情報交換などを検討してみたいと考えています。

公共施設のデジタル化は
進んでいますか？



小田上 尚典

問 全国でデジタル化が進む中、令和4年に国は新たな方針を発表しました。その中でWi-Fiを含む通信環境の整備が前提とされています。公共施設への整備指針はありますか？特に総合市民会館、公民館や図書館には必要だと思えます。

答 市の情報政策としての整備指針はありませんので、今後意義や必要性が生じた場合は、その効果も含めて検討していきます。

教育長 図書館の学習スペースのインターネット環境の整備は検討中です。他の社会教育施設については優先度などを見極めながら進めます。

大好き
大竹応援大使について

問 令和3年にこの制度が始まりましたが、普段の大使の方々の情報共有や連携はどのようにされていますか？今後期待することは？

答 大使自身がSNSなどに掲載した情報を把握しつつ、市の情報の提供などを行っています。大使自身のペースで情報発信を行っていただく制度であり、大使の活躍が市の魅力発信につながることを期待しています。

DXへの
取り組み方について

問 今年度から新設された情報政策係がDXへの取り組みを行なうことになっています。進捗状況や意識の変化はありましたか？

答 国が定める自治体DX推進計画に沿って順次取り組んでいます。職員意識の変化は読み取れませんが、全庁的な情報共有を図る中で意識が醸成されることを期待しています。



日域 究

県用水の受水は
県条例を基準に

問 大竹市は防鹿浄水場からの自前の豊富な水があるにもかかわらず、三ツ石の県浄水場の水を年間1億円を払って購入しています。県条例には県の水は利用廃止も可能だと書いてありますが、県の担当者はそれを一切否定してきました。

一方、その県の水は単価自体が割高で県の水道事業には200億円もの赤字が積み上がっています。受水各市は以前から、県と値下げ協議していますが、水道決算書からはそのことが見え、決算の監査意見にもその記述がなく、私の不勉強もあって3年前まで知りませんでした。長年放置されてきた県用水の不自然な状況を正し、県が取りすぎたお金は各市に返すべきだとも思いますが、これらについて如何お考えですか。

答 県は県内14市町（大竹市は不参加）と「広島県水道広域連合企業団」を設立し、令和5年4月1日から水道事業を開始する予定です。

令和2年度の県企業局の水道用水供給事業決算における利益剰余金約203億円は企業団に承継されること考えられます。この剰余金のうち、市が利用している広島西部地域水道用水供給事業の剰余金約55億円については、西部用水を受水している団体の負担によって積み上げられたものなので、西部用水及びその利用団体のために使用し、他の事業には転用しないよう県に対して強く要望しているところです。



広島県三ツ石浄水場



藤川 和弘

三倉岳自然公園について

問 4歳〜80歳まで90名の方が参加し、三倉岳県立自然公園の大規模な清掃活動が行われました。参加者から、Wi-Fiの設置、キャンプ場の改修、登山道に案内看板の設置、夕陽岳と中岳の間のルート開通、登山道4合目と9合目にトイレの設置について要望がありました。今後の対応について伺います。



三倉岳
9合目倒壊小屋
4合目倒壊トイレ
壊れた看板

答 清掃活動に参加された皆様には、大変感謝しています。Wi-Fi環境の整備は、県に要望しています。キャンプ場は、第1野営場の改修をするという聞いており、看板は、利用者が分かりやすい看板の設置を要望しています。夕陽岳と中岳の間の登山道の復旧工事は、今年度実施予定です。トイレなどのご意見は、今後の要望事項に加えることも含め、検討したいと思えます。

晴海臨海公園の
水広場について

問 市民からご意見をいただいております。今の施設では、1歳2歳の小さい子供達は喜んでいますが、もう少し大きい子供達にも利用してもらえようという、もっと高くミストが出るように出来ないでしょうか。また、市民からの声では、水で遊べる施設「水広場」がほしいとの声が多く出ております。お考えを伺います。

答 利用者から「もっと水遊びが出来る施設がほしい」との要望を伺っていますので、今後、改良や新たな整備を検討したいと考えています。



細川 雅子

玖波中学校統廃合の方針について見直しをしませんか

問 玖波中学校の統廃合を示した「大竹市小・中学校充実のための基本方針」が定められて20年経ちました。この間、学校選択制や小中一貫教育が制度化され、成果を上げています。玖波中学校の生徒数は減少していますが、小規模校としての魅力と存在意義は逆に大きくなっています。基本方針の見直しをされませんか。

また、喫緊の課題として、
①部活の数が他校と比較して極端に少ないこと。これは学校教育の観点からみて問題だと思います。
②築40年経過し、施設の老朽化が進んでいること。災害時の第2次避難場所に指定されていますが、ユニバーサルデザインに対応できていません。この2点に対応が急がれます。
以上、お考えをお示しください。

答 教育長 「大竹市小・中学校充実のための基本方針」の方向性と方策の根幹は変わるものではないと考えますが、教育を取り巻く環境が大きく変化していることも事実です。このような状況を踏まえ、具体的な方策を練っていききたいと考えます。

部活動は、配置されている教職員数の関係で、他の中学校に比べて選択肢が少ないという課題があります。今後、他校との合同実施や部活動の地域移行について、課題も含めて、どのような形で実現できるか方策を探っていきます。
玖波中学校は、建築から40年経過し、安全の確保を最優先事項として取り組んでいます。引き続き、安全対策、機能の回復や向上を図る対策の実施を検討していきます。



玖波中学校・生徒会スローガン

第4回市議会（臨時会） 議案の審議結果表

議案番号	議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第34号	令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

第5回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案番号	議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第37号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	大竹市税条例等の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	大竹市水道条例の一部改正について（修正案）	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	修正可決
議案第39号	大竹市水道条例の一部改正について（修正案を除くすべての原案）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	工事請負契約の締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和4年度大竹市一般会計補正予算（第5号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権